

## ➤ 16日 土曜

### ヘブル

9:11 しかしキリストは、すでに実現したすばらしい事柄の大祭司として来られ、人の手で造った物でない、すなわち、この被造世界の物でない、もっと偉大な、もっと完全な幕屋を通り、

9:12 また、雄やぎと子牛の血によってではなく、ご自分の血によって、ただ一度だけ聖所に入り、永遠の贖いを成し遂げられました。

9:13 雄やぎと雄牛の血や、若い雌牛の灰を汚れた人々に振りかけると、それが聖なるものとする働きをして、からだをきよいものにするのなら、

9:14 まして、キリストが傷のないご自分を、とこしえの御霊によって神にお献げになったその血は、どれだけ私たちの良心をきよめて死んだ行いから離れさせ、生ける神に仕える者にすることでしょうか。

9:15 キリストは新しい契約の仲介者です。それは、初めの契約のときの違反から贖い出すための死が実現して、召された者たちが、約束された永遠の資産を受け継ぐためです。

9:16 遺言には、遺言者の死亡証明が必要です。

9:17 遺言は人が死んだとき初めて有効になるのであって、遺言者が生きている間には、決して効力を持ちません。

9:18 ですから、初めの契約も、血を抜きに成立したわけではありません。

9:19 モーセは、律法にしたがってすべての戒めを民全体に語った後、水と緋色の羊の毛とヒソブとともに、子牛と雄やぎの血を取って、契約の書自体にも民全体にも振りかけ、

9:20 「これは、神があなたがたに対して命じられた契約の血である」と言いました。



9:21 また彼は、幕屋と、礼拝に用いるすべての用具にも同様に血を振りかけました。

9:22 律法によれば、ほとんどすべてのものは血によってきよめられます。血を流すことがなければ、罪の赦しはありません。

イエス様の十字架は、「どんなにか私たちの良心をきよめて死んだ行ないから離れさせ、生ける神に仕える者とするのでしょうか。」とあるように、私たちの内面をきよめて、変える力があります。十字架はそのためでもあるのです。

儀式は一時的なものであり、表面的です。しかし私たちには、いける神の身代わりときよめの血があります。血にはいのちがあるのです。わたしたちはイエス様から新しい命をいただいています。ですから新しい生き方が可能なのです。それを確信して、きよい生き方への渴望と確信を持ちましよう。

きよめも癒しも、また成長のためにも、自分を変える必要があると分かっているでしょうか。それを実現するのは人間の努力だけでなく、主の十字架の血によるのです。私たちは自分が主のみこころに沿って変えられたいと願うこと、そしてそのために主に求め、聖霊様を歓迎することです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は抜おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

